

配送作業、パソコンで把握

携帯バーコード管理システム開発

グローバル・アドバンス 今秋にもASP供給

グローバル・アドバンス(東京都中央区、大野和人社長、03・5543・3682)は、携帯電話端末のバーコード読み取り機能を使った配送管理システムを開発した。ASP(ソフトウェアの期間貸し)方式を採用し、今秋にも物流会社向けに供給を始める。通信料などを除くシステム利用料は月額1万円以内を予定している。

NTTドコモが5月に発売した法人向け携帯電話端末「F105B」に専用ソフトを組み込んで販売する。端末が車載器とハンディターミナル、電話機の機能を兼ねるため、ユーザーは初期投資やランニングコストを抑えられる。導入初期費用は約2万5000円で、ユーザーは別途携帯端末を購入する。端末価格は9万円台半ばに設定す

な位置情報を割り出す。バーコード機能を使う際は読み込み時の位置情報と時間をサーバに送信し、データを蓄積する。ユーザーは「いつ、どこで、だが、どの荷物を受け渡し、いつ到着した」など物の流れ全体を、自社のパソコン画面からほぼリアルタイムで把握できる。

配送管理システムは、携帯電話端末が常時送信する全球測位システム(GPS)情報を同社が管理するサーバで地図情報と照合し、端末の正確

同システムは拡張性が高いことが特長で、ユーザーが保有するソフトウェアとの連動も可能にした。運行経路の分析システムなど組み合わせることで、配送作業を効率化できる。